

授業科目	教育実習Ⅱ					実務家教員担当科目	-				
単位	1.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	阿南 寿美子										
授業概要	講義や演習などの授業で学んだ基礎的知識や技能をもとに、幼稚園教諭に求められる実践的能力を養うため、2年前期の1週間にわたって幼稚園において教育実習を行う。なお、実習園では実務家による指導を受ける。										
授業形態	観察・参加実習 《部分実習含む》			授業 方法	各自が希望した実習園で実習を行う。						
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	1. 幼稚園教育の実際が理解できる。 2. 幼児理解の方法について、実習体験を通して考えることができる。 3. 実習日誌の作成ができる。 4. 教材研究の方法が実習体験を通して理解できる。 5. 子どもの言動を観察し、その意図を推察し理解しようとする意識を持つことができる。 幼稚園の教育目標や子どもたちの実態に応じた保育計画を立て、実践することができる。 日々のねらいを中心とした観察を行い、子どもの行動や保育者の働きかけから自らの保育に対する認識を深めることができる。										
理想的 レベル	子どもの言動について個々の子どもの特性を理解し、働きかけることができる。保育以外の保育者の職務について理解し、積極的に行動することができる。自らの保育を振り返り、保育者からの指導とすり合わせながら、課題を解決するための意識を持つことができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験											
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物		40%				実習記録・日誌					
その他		60%				実習園評価及び面談					
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	CH31503J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
実習園における事前のオリエンテーション 実習日誌の作成・提出 実習園での事後の手続き										1	
授業計画											
第1回	1. 幼稚園での事前オリエンテーション										

	<p>(本学附属園、キリスト教園、出身園など、各学生が希望する幼稚園で実施。原則として教育実習Ⅰとは異なる園とする。)</p> <p>2. 幼稚園での実習</p> <p>①実習園の特色や教育方針の理解をする</p> <p>②毎日の保育について記録にまとめ、考察する</p> <p>③観察・参加実習をおこなう</p> <p>④絵本・紙芝居・手遊び歌・歌唱指導などの実践と振り返りをおこなう</p> <p>⑤指導案を作成し、部分保育をおこなう(園の方針に従う)</p> <p>⑥実習体験を通して、幼稚園教諭に求められる資質や態度を理解し、身につける努力をする</p> <p>3. 実習体験をもとに総合的考察をおこない、自らの今後の課題を設定する</p>
テキスト	<p>文部科学省『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館)</p> <p>幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>「実習の手引き」「教育実習2手引き」他随時配布資料</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>事後面談等個別に行う。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>「教育実習1」の単位取得者であり、「教育実習1」の事後指導及び「教育実習2」の事前指導を受講するとともに実習要件を満たしている者。</p> <p>「教育実習指導」の学習内容、1年生で履修した講義や演習、「教育実習Ⅰ」を顧みて、学んだ知識や技術、自己課題を生かせるように各自十分復習しておいてください。</p> <p>決められた教育実習指導を受講していない場合には、実習を延期することもありますので注意してください。成長・発達過程の子どもたちと出会うという自覚を持って、各自実習に備えて万全の準備をしてください。</p>